

事務事業名 木次こども園建設事業		所属部 子ども政策局	所属課 子ども政策課	
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 総務政策グループ	課長名 狩野 明芳	
	施策名 (26) 子育て支援の充実	担当者名 南波真二	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2253	
	目的 対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 5 0 5 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 0 1	木次こども園建設事業	
	基本事業名 (078) 子育てと仕事の両立支援 目的 対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。		木次こども園建設事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (28 年度～ 32 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
木次こども園の整備を行う。 ・H28・・・基本計画、補償調査 ・H29・・・補償調査 ・H30・・・用地・補償契約、書庫解体、設計等 ・H31・・・建設工事 ・H32・・・旧保育所解体等

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 基本計画1式 補償調査3棟	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 補償調査4棟			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 決算額	千円			5,935	5,200
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	木次こども園児	ア 在園児数	人	115	122	114	122
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
園児が快適で良質な環境で保育・教育を受ける。	ア 子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合(行政サービスの)	%	61.1	65.9	71.2	64.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
基本計画 ・3,208千円 補償調査 ・2,727千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費	地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円		5,935	5,200
		事業費計 (A)	千円		5,935	5,200
	人件費	正規職員従事人数	人			1
		延べ業務時間	時間			120
		人件費計 (B)	千円		476	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		6,411	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市内の全幼保施設に先駆けて、認定こども園化へ移行した。	認定こども園化移行当初から施設が分断状態にあり、一体化施設の建設・整備に対する要望を受け、その改善に向けた検討を行ってきた。	早期の一体化施設の建設・整備

事務事業名	木次こども園建設事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	------------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設建設に向けた調査等であり、これ以上の成果向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	中止となった場合、一体化施設の建設・整備に対する要望には応えられない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	公立園の施設整備であり、他に手段がない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		施設整備にあわせて、定員拡大を図る予定であり、これ以上削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		公立園の施設整備であり、公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		・これまで施設整備について要望を受けてきており、また、近年の待機児童の発生もあり、定員の拡大を含めた施設整備は必要である。
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																						
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
<p>・設計段階以降、できるだけコスト低減を含めて検討を行いながら、施設整備を図る。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								